



2018(平成30)年10月号

## 三 帰 依

朝晩が涼しくなり、秋が深まってまいりました。秋の夜長と言われますが、私は普段通り子ども達と一緒に布団に入るの、早寝早起きの規則正しい生活を送っております。皆さまはいかがでしょう？

先月6日には、北海道胆振地方において震度7の地震があり、土砂崩れなどによって住宅が損壊し、40人を超える方がお亡くなりになりました。また、道内では道路の損壊による液状化現象や大規模な停電・断水など、多くの方が生活に関わる被害に遭われました。心よりお見舞い申しあげます。今年には日本各地で自然災害が起こっておりますので、私たちも日ごろから災害に対する準備と意識を持っていかねばなりませんね。

さて、今月は「三帰依(さんきえ)」について味わわせていただきます。三帰依とは、私たち仏教徒が仏道を歩む上で、仏・法・僧の3つの宝を依りどころとすることです。

①仏とはブツダと言い、お釈迦さまのことです。②法とはダルマとも言います。ブツダの教えのことです。③僧とはサンガと言い、私たちのような僧侶という意味ではなく、仏教を實踐する集いのことです。仏法僧の三宝に帰依することは、仏教徒としてのスタートと言ってもよいでしょう。

先日、長女が通う小学校で学校公開(参観日)があり、「お父さん絶対来てね。」と言われたので、行ってきました。その授業では、「私の宝物」ということで、各々が用意した自分の宝物を披露するというものでした。子ども達は、プラモデルやぬいぐるみ、ブレレットなど、少し照れながら披露していました。

そして、長女の順番がきて何を披露するのかと思うと、一枚の毛布でした。その毛布は、長女が生まれたばかりの時に義母(長女の祖母)が、買ってくれたものでした。白地にピンクで縁取りされ、端にウサギの顔が描かれています。確かに今でも長女は愛用しており、寝る時はもちろん長男と遊ぶ時にも毛布を使うほどです。

緊張した面持ちで、自分の宝物であるウサギの毛布を披露する長女の姿に、何とも言えない感動を覚えたことです。親バカでお恥ずかしい限りですが、しかしその時ふと、私にとつての宝は何だろうと考えました。そして、皆さまにとつての宝は何でしょう？

一般的には、財産や家族、地位、名誉といったものを求めます。しかしこれらは、縁に触れると簡単に崩れてしまふものでもあります。

「三帰依文」というお経には、  
人身受け難し、今すでに受く。

仏法聞き難し、今すでに聞く。

というお言葉があります。私たちは、多くのいのちの中から、生まれがたい人間のいのちをいただきました。そして、なかなか出遇うことのできない仏法を聞かせていただく身にさせていただきました。それは、私自身の力でそうだったのでなく、「仏」という大いなるはたらきによって、手を合わせ念仏申す人生に仕上げていただいたのです。仏教徒として、仏法僧の三宝を依りどころとしていくことを、改めて考えさせられます。

# 仏事あれこれ

## 仏事のQ&A

Q. 浄土真宗のお墓の

ポイントとは？

A. まずお寺に相談する

浄土真宗のお墓は、こうしななければ  
ならないというような明確な決まり  
があるわけではありません。ただ、こ  
れは相応しくないとか、こうすればよ  
いというようなお薦め事項はありま  
す。そこで、気になるポイントを述べ  
てみましょう。

① 建てようと思ったら、まずお寺に相  
談すること

浄土真宗の教えにそぐわない文字  
を刻んだり、余分なものを造ったので  
はもったいないですから。それに、信  
頼できる石材店を紹介してもらえ  
るかもしれません。

② 墓相に惑わされないように

お墓の向きによって幸不幸が生じ  
るわけではありません。位置も同様で  
す。向きや位置にこだわるとかえって  
不自由、不自然になり、お参りしにく  
くなることだってあります。

③ 墓石の形もこだわらずに

石碑の上に傘上の石を載せたり、足  
をつけたりしているお墓もあります  
が、あまりこだわらずに、気持ちよく  
礼拝できる石碑であればよいでし  
ょう。

④ 石碑（軸石）の正面には「南無阿弥  
陀仏」のお名号を刻みましょう

ご先祖や亡き人を偲ぶ上でも、人生  
無常の理をかみしめる上でも、つねに  
私の依りどころとなつてくださるの  
が阿弥陀さまだからです。阿弥陀さま  
のお心を表すお名号を称え、礼拝しま  
す。家名は台石に刻めばよいでしょう。  
⑤ 観音像、地藏像、宝塔は建てなくて  
よい

帰依する仏さまは阿弥陀さま一仏  
であり、そのお名号の中に、すべての  
功德が具わっているからです。

⑥ 吉日の文字は刻まない

日の吉凶や、建てる時期は問いませ  
ん。

⑦ 「霊標」とせず「法名碑」に

亡き人の名を記す石板は「法名碑」  
にしましょう。なお、お墓が完成した  
ら、建碑式を行います。

『新・仏事のイロハ』より抜粋

## お知らせ

公開講座 開催

日時 11月4日(日) 13時半より

テーマ おてらくこのススメ

会場 東久留米会館 本堂

参加費 無料



お寺で落語（おて  
らくご）を行いま  
す。立川談慶師匠  
の落語、仏教の味  
わいを多田修師に  
解説していただきます。どうぞ、ご  
参加ください！

平成30年の年回表  
(ご法要のお申し込みをお忘れなく)

平成30年 年回表	
1 周忌	平成29年
3 回忌	平成28年
7 回忌	平成24年
13 回忌	平成18年
17 回忌	平成14年
23 回忌	平成8年
25 回忌	平成6年
27 回忌	平成4年
33 回忌	昭和61年
50 回忌	昭和44年

# 9月行事の様子

## ★境内清掃 9月8日(土) 9時～11時

残暑のなか、15名の方にお手伝いいただき、境内の草取りを行いました。皆さんに頑張ってください、きれいな境内になりました。



## ★千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要 9月18日(火)12時30分～14時30分

昨年は台風のため中止でしたが、今年は快晴で5名の方が参拝されました。会館3代目の主管・津村先生にもお会いし、皆さん懐かしがっていました。

ご本尊前にて



法要の様子



津村先生と一枚



## ★秋季彼岸会法要 9月23日(日) 13時～15時

お彼岸とは思えない程蒸し暑い天候のなか、23名の皆さまが参拝されました。法要では正信偈をお勤めし、ご講師・毛利祥真師よりご法話をいただきました。

法要「正信念仏偈作法」



毛利 祥真師



9月の誕生日の皆さま



当会館ではすっかりお馴染みの毛利先生に、今年の彼岸会もお世話になりました。軽妙な語り口で、笑い話も交え、お彼岸についてご法話いただきました。

# 東久留米会館の 行事案内

—Schedule—

## ▶ 10月の行事予定

### 常例法座

ご講師 龍山 利道師  
(埼玉県 教念寺)

10月14日(日) 午後1時～

どうぞ、お気軽にお参りください。

### 親鸞聖人御命日お晨朝総参拝

10月16日(火) 午前7時～

月に1度、朝のお勤めにお参りしませんか?  
お供物のおさがりをプレゼントいたします。

## ▶ 11月の行事予定

### 公開講座

ご講師 立川談慶師匠、多田修師  
テーマ おてらくこのススメ

11月4日(日) 午後1時30分～

是非、ご参加ください。

### 築地本願寺報恩講参拝

11月11日(日)

参拝ご希望の方は、ご連絡ください。  
※現地集合・解散になります。

### おみがき・境内清掃

11月18日(日) 午前10時～

報恩講に向け、仏具のおみがき、  
館内・境内の清掃を行います。  
ご協力よろしくお願ひいたします。

### 報恩講

11月23日(金) 午前10時～  
午後1時～

ご講師 本多 静芳師  
(東京都 万行寺)  
親鸞聖人の御命日にあたり、聖人の  
ご遺徳を偲び、感謝する法要です。

東久留米会館会報 「ともしび」  
第270号  
発行日 2018年10月1日  
発行者 安邊 泰教  
住所 東京都東久留米市柳窪5-8-30  
電話 042-474-6787

**編集後記**  
長年、当会館の脇で道路の新設工  
事をしており、ようやく今月開通し  
ます。便利になる方も多いと思いま  
すが、残念ながら会館に繋がる道で  
はありません。(安)

**今月のお仏飯米のご進納**  
菅野ヨシコ様 田口 康子様  
西 ユリ子様 浅野 由美様  
北川 惇子様 加藤 吉長様  
ありがとうございます。

**9月8日境内清掃お手伝い**  
北川 康雄様 神谷 正弘様  
菅野ヨシコ様 大嶋 弘様  
田口 康子様 西 ユリ子様  
浅野 由美様 大嶋 貢子様  
神谷 玲子様 山下 肇様  
加藤 吉長様 才野木康雄様  
熊谷 武様 有坂 健様